



9月に入りましたが、連日の猛暑に悩まされています。相川小学校では、児童を熱中症から守るために、暑さ指数（WBGT）をこまめに測り、必要に応じて帽子の着用やマスクを外すことを指導しています。児童玄関には暑さ指数を表示し、自分で自分の安全を管理する気持ちを養っています。



熱中症対策を心掛ける中で、6年生と5年生の秋の校外学習が実施されました。



6年生は、風土記の丘研修センター・考古博物館と県立博物館で学習を行いました。風土記の丘研修センターでは、勾玉づくりと火起こし体験にチャレンジしました。考古博物館では、社会科で学習した縄文時代や弥生時代に関する展示物を見学して学習を深めることができました。県立博物館では、常設展の他に「水木しげる魂の漫画家展」を見学することができました。行く先々で態度のよさを褒められたそうです。修学旅行で培った公共施設での行動のしかたがしっかりと身につけているようです。



一方、5年生は秋の校外学習を、8ヶ月後に行われる修学旅行を成功させるための第一歩と位置づけ、メリハリのある行動を指導していました。5年生は、株式会社メッツと湯之奥金山博物館で学習を行いました。メッツ工場では、自動車の部品が作られる様子を5感を使って実感することができました。金山博物館では、砂金取りを体験しました。楽しく過ごす時間と、学習する時間を明確に区別し、中身の濃い校外学習を経験することができました。



9月授業参観 ご協力をありがとうございました



9月20日（水）に、授業参観を実施しました。たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、感謝申し上げます。年度当初の計画では、3日間に分けての実施をお伝えしていたものを、1日開催に変更してしまい、多くの皆様にご迷惑をおかけしました。誠に申し訳ございませんでした。

3学期に予定されている授業参観・学年総会は、役員決めがありますので、予定通り3日間に分けて実施する予定です。予期せぬ事情で予定を変更することがありましたら、できるだけ早く皆様にお伝えするよう努力いたします。

地域の皆様・保護者の皆様 へのお願い

11月3日（金）に、相川小学校秋季運動会が開催されます。会場の安全管理のため、ご観覧は、児童と同居するご家族に限定させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。



通学路安全点検について



前回の学校だよりで、8月9日に、令和5年度の通学路安全点検が行われたことをお伝えしました。今回はその内容について詳細をお伝えします。学校からの報告に対して対応はしていただける見通しですが、実施は来年度以降、場所によっては複数年度かけての実施になるとのことです。

| | 危険箇所の住所、目印等 | 現状 | 行政・警察の対応 |
|---|-----------------------|---|---|
| 1 | 学校北側の住宅街を南北に歩行するルート | 登校時間帯に車どおりが比較的多く途中から道幅が狭くなるので、路側帯、グリーンベルトの設置、通学路注意の路上表示や看板の設置を要請。 | 外側線等の引き直し、グリーンベルトの設置、通学路注意の道路標示の実施を行っていただけます。 |
| 2 | 岡商店西のカーブの路地を下りた右側のところ | 道沿いに蓋の無い用水路があり危険。 | 用水路は民有地との境界にあり蓋等はかけられないそうです。以前道路側にU字ポールを設置しましたが車両通行の障害となるとのことで撤去した経緯があり、対応はできないとのことでした。 |
| 3 | 西田郵便局東の交差点 | 以前横断歩道の塗り替えを実施していただいたが、交通量が多く横断歩道が消えかけている。 | 横断歩道の再塗装を実施していただけます。 |
| 4 | 西田町5丁目住宅地内 | 道沿いのブロック塀に亀裂が入ったり道路側に傾いたりしている。設置者への改善の働きかけ。 | 行政から塀の設置者に改善の働きかけをしていただけるとのことでした。 |
| 5 | 岩窪町の幼児教育センター付近の道路 | 緩いS字カーブとなっており、道幅も狭く見通しが悪い。通学路注意の道路標示や看板の設置を要請。 | 道路外側線を引き、グリーンベルトを設置。道路に通学路注意の表示をしていただけます。 |



1人1台端末の活用

個別最適な学び
協働的な学びの実現



児童それぞれの特性に対応した個別最適な学びと、みんなで協力し高め合う協働的な学びを実現するために、1人1台端末を活用しています。児童が学習の主人公となる授業をめざしています。今回は1・2年生の学習の様子をお伝えします。



1年生は、国語の学習を紹介します。縦、横、斜めに隠れている言葉を見つける学習です。各自がつくった問題パズルを写真に撮りました。撮った写真を端末を活用して共有し、友だちの作ったパズルを楽しみました。1年生は、このほかにも、ジャムボードというアプリを活用して、友だちの創作や考えをみんなで共有し、高め合う学習に取り組んでいます。端末を活用すると、このような協働的な学びを日常的に取り入れることができます。

2年生は、生活科の学習を紹介します。各自が自分の作りたいおもちゃを決め、作り方を調べ、創作していく学習です。各自が個性的な学習に取り組んでいくため、作るおもちゃは様々です。一人の担任が対応するのは難しい学習の形態です。児童は、端末を活用して自分で作りたいおもちゃの作り方を調べていました。教師は学習の見通しを児童に示し、あとは、児童が主人公となる学習が展開されました。端末の活用により学習の個性化を実現することができました。

文責：校長 桐山 賢一